



2025年5月25日 @ 江陽グランドホテル / 主催 LumiWell

マリー・アントワネットが愛した ジャルダン・カシェ (秘密の庭)

年

年齢を重ね、悲喜こもごもの人生経験を重ね、生きた学びの中から機微と感性を培ってきた大人だからこそ、「自らを解放する」ためのターニングポイントが必要なのでは。ましてや女性なら、そこに輝く美とハリを新発見することで、人生の第4幕を華やかに開く沸き立つようなエネルギーを得られることだろう...! 2024年12月にキックオフした「王妃のお仕度」には、「ウェルビーイング (以降WB) 〓幸せ」

可視化文化プロデューサーにして小誌編集長、福岡真理子 (女性と健康社) のそんな願望というか仮説が潜んでいます。新緑の街が夏の緑陰へと染まり始める5月末の夜、杜の都・仙台で華やかに開催されたスペシャル・ガラ・パーティ「王妃のお仕度 vol.2 マリー・アントワネットが愛したジャルダン・カシェ (秘密の庭)」では、正にそれを実感することとなりました。

今回、福岡には大いなる同志が。それ

は仙台で健康・美容志向の高い名士たちが集うヘルスケアサロン・オーナーの菅野郁子さん。当地でのWB可視化実現のために彼女が立ち上げた LumiWell が、今回の王妃のお仕度を主催。愛娘の真子さんをスーパースターに、向上心と真心に満ちた若いスタッフたちを率い、仙台王妃たちとゲストたちをエレガントな解放のひとつときへといざなうべく尽力してくださいました。

勿論「王妃のお仕度クリエイティブ・チーム」の中核をなす宝塚OGたちの、多岐にわたるきめ細やかなナビゲーションもディナー後のOGショーもますます磨きが掛かり、めくるめくWBの見える化を力強く牽引してくれたことは言うまでもありません。

印象的だったのは終宴後、5月初旬のドレス・フィッティング以降思いを一つに心を高め合ってきた5人の王妃たちが、感謝の言葉を伝えてきてくれたこと。ジャルダン・カシェを体現する美しい料理を供してくれた江陽グランドホテルにも大感動。人の心映えの豊かさに胸震えた「王妃のお仕度in仙台」の夜。心華やぐ幸せが循環する王妃たちの旅は、確実な歩みを進めています。



① 5人の仙台王妃たち、そしてマリー・アントワネット (麻樹ゆめみさん / 元宝塚歌劇団娘役)、フェルゼン伯 (天羽珠紀さん / 元宝塚歌劇団男役) ② 王妃のお仕度クリエイティブ・チームによるお仕度風景。右よりヘアースタylist: 洲崎美智子さん (アトリエバルファン)、メイクアップアーティスト: 暁郷さん (元宝塚歌劇団男役) ③ 王妃のドレスモデルコレクションを晴れやかな笑顔で見守るコンシェルジュ / 総合司会の風莉じんさん (写真左、元宝塚歌劇団男役) と、お仕度プロデューサー / パーソナルカラーアナリストの蓮水ゆうやさん (写真右、元宝塚歌劇団男役) ④ 王妃たちにはアントワネット役の麻樹さんよりノーブルな立ち居振る舞いのレクチャーが本番前まで入念に ⑤ さながらアントワネットが愛でたブチ・トリアノンの花園が凝縮したようなオーダブルには感嘆の声が ⑥ アントワネットとフェルゼン伯によるショー・タイム。会場を一気に夢の世界へ ⑦ 右: 主催 LumiWell 代表の菅野郁子さん。左: 小誌編集長・当イベント統括プロデューサー 福岡真理子。仙台王妃たちの放つ幸せオーラに二人して感動の面持ち



Interview Message

仙台の大人たちに本物のウエルビーイングを

王妃のお仕度in仙台主催

菅野 郁子 (LumiWell代表)

菅野 真子 (LumiWellスーパーバイザー)

〈聞き手〉
ウエルビーイング可視化文化事業プロデューサー

福岡 真理子 (HEALTH PLUS 編集長・女性と健康社代表取締役)

杜の都・仙台の地で
「Well-Being可視化事業」の担い手に
名乗りを上げた菅野郁子さん。
愛娘の真子さんとともに
企画推進カンパニー LumiWell を立ち上げ、
仙台初の「王妃のお仕度」を完遂されました。
その情熱とお人柄に小誌がディープアプローチ！





特集

王妃のお仕度
2025 in 仙台

出逢い、そして「王妃のお仕度in仙台」 すべては心からの笑顔のために

福岡 昨年2024年の夏、漢方・ウイルス免疫学のオーソリティ、邵輝先生のご紹介で、私が神戸のホテルでプロデュースした宝塚OGのイベントにご参加くださったのが郁子さんとの出逢いでしたね。11月には地元仙台でのライオンズクラブの記念イベントに邵輝先生とOGたち、私もプロデューサーとして招聘してくださり、12月に神戸でキックオフした「王妃のお仕度」にはお嬢さんの真子さんと共にお越しくださいました。

郁子 神戸で出逢った瞬間、福岡さんに魅了されました。提唱されているウェルビーイングの考え方にも心から共感いたしましたし。

福岡 そのように言っていたら、ありがとうございます。ウェルビーイングへの深い共感に感激しています。共感のみならず、「王妃のお仕度」を仙台でも開催すべく *LumiWell* を立ち上げて、主催と現地での実務までやってしまわれるのですから。いくら共感しても、自ら手を上げてそこまでやり切るお方はそうそうあるものではないですね。私こそが菅野さんのエネルギーと行動力に胸を打たれています。

郁子 仙台の皆さまの溢れるような笑顔が、私の中ではつきり描けたのです。輝く笑顔を引き

出せる仕事をしたい。その笑顔で自分も幸せを感じたい。ヘルスケアサロンを仙台で開いて20年になり、様々なイベントを開催してきましたが、「王妃のお仕度」はさらに皆の気持ち上がり、笑顔溢れるものになるに違いない...と。
福岡 昨日5月25日はそれが叶ったことを実感しましたね。5人の仙台王妃たち、応援されるご家族、スタッフの皆さん、誰もが弾けるような笑顔で喜びを分かち合っておられました。

ファミリーに培われた ウェルビーイングな文化風土

福岡 現在のサロンは約20年とのことですが、それまではどのような来し方を？

郁子 2年半の会社員時代を経て服飾関係の専門学校に入り直して学び、卒業後は縫製のテクニカルな部分の教職につきました。明け方まで生徒たちの作品制作に付き合うこともあり、結婚後は家庭との両立が厳しくなってきました。それで教職を辞し、中学の頃から学んで資格も持っていたお煎茶の教室を始めました。出産と子育ての間も無理ないペースで。時代が昭和から平成に移って間もない頃ですね。

福岡 今でこそ女性の学び直しや起業は当たり前になりましたが、その頃はまだそんな時代ではありませんよね。その発想はやはりご両親の

薫陶ゆえでしょうか。ご実家は何かお商売を？

郁子 はい。綿店や、現在私の夫が受け継いでいる再生資源業をやっておりました。常にお客さまがあり従業員が立ち働いている忙しい家でした。人は働いていて当然という意識を私も自然に持っていましたね。

福岡 働く意識もさることながら、郁子さんの社交性もその環境の賜物かもしれませんね。

郁子 両親の薫陶ということでは「男性に負けないように生きなさい」と父には言われておりました。母からは「女性にとって、学びは一生の宝なのよ」と。さらに両親は進学先を押し付けず、私の気持ちと判断に委ねてくれました。

福岡 なんと進歩的なご両親！人生を自分で切り拓くことやその基礎力づくりを、そういう風にサポートしてくださったとは。

郁子 今の私があるのは、両親の存在と、夫の支えがあつたからこそです。夫からは「仕事を持つていることがいちばんの贅沢だ」と言われ、その言葉が今の私を支えてくれています。

福岡 ご主人にもお目にかかりましたが、ウェルビーイングのままに生きてらっしゃるお方だとお見受けいたしました。社会的存在であることをベースに自分らしく生きる。これはもう菅野ファミリーの文化風土なのでしょう。そんな風土に育った真子さん。真子さんにとって郁子さんはどんなお母さまですか？



①王妃の名を冠したNINA'S MARIE-ANTOINETTEはイベントのシンボル ②大地震の被災地 同士として LumiWellもスポンサーした震災30年「神戸百景アートティ」。爽やかな乾杯のお飲み物として好評



王妃のお仕度 in 仙台 (2025.05.25)。リハーサルを終えた5人の王妃たちと全スタッフで、本番に向けて気持ちを一つに記念撮影

真子 両親揃って私をとて自由のびのびと歩ませてくれ、本当に感謝しています。母は明るくて人柄が良く、人が引き寄せられていくんですね。人脈というか人との豊かにつながり。これは本当に凄いと思っています。

福岡 決して切った張ったではなく、常に柔和でいらつしやる。だから皆、郁子さんの前では恰好を付けたり取り繕ったりせず、素直でオープンな気持ちにもなれるのでしょう。郁子さんから見ると真子さんは？

郁子 真子も昔から人を引き寄せる子だったと思います。中学ではバスケットでキャプテン。友人や後輩からも慕われ、私のサロンのスタッフともとても仲良しです。それに私と違って慎重できつちりしています(笑)。とにかく頑張り屋さん。頑張り過ぎてしまうので、自分でストップをかけられるようにならないと。

真子 私は人と同じことをするのがイヤで完璧主義なところがあります。大学卒業後は東京でイベント制作会社に就職し、次第にイベントを丸ごと任せてもらえるようになりました。とても楽しくやり甲斐がありました。頑張り過ぎて体を壊してしまいましたね。

郁子 東京に会いに行ったらガリガリに痩せて顔色も酷くて。驚いて、知り合いのお医者様に診せたら、その場でドクターストップ。

真子 自分一人ではもう止められなくて。体が

限界だと分かっていたいかなかったですね。けれど今はすっかり回復してとても元気です。

福岡 「王妃のお仕度」をとおして、真子さんの確実な仕事ぶりには感服しておりました。ご回復、本当に良かったです。それにしても自由と互いへのリスペクトが菅野家の文化風土なのですね。ウェルビーイング度の高さを感じます。

試練も心豊かに生きるためのパワーに

福岡 郁子さんのサロンでは心身健康であること、免疫力を高めることを美しくあるための柱としておられます。これはご家族の介護をとおして学んだことだとお聞きいたしました。

郁子 母はC型肝炎、父はガンを患いました。特に父は生き抜くことにとてめ気丈で前向きでした。治療法を求めて海外にも足を延ばし、上海の大学病院で二か月間、鍼灸や漢方薬、太極拳など東洋医学の粋を集めた治療を受け、とても元気になって帰ってきたことがあるんです。その時、本当に凄いなと思いました。父も東洋医学も。私がホリスティックな考え方に目覚めたのはその経験があったからでしょう。

福岡 私の母を思い出します。母は薬剤師でしたが、常に体調不良に悩まされていました。妹はアトピーでした。母は研究を重ね、40年前、まだ世間では全く注目されていなかった時代に



特集

王妃のお仕度
2025 in 仙台

菅野 郁子 (かんのいくこ)

LumiWell 代表。宮城県出身。仙台白百合学園中・高・短期大学を卒業後、金融機関に入社。その後、服飾専門学校で学び教員に。結婚・出産を経て煎茶道教室やキルトスクールを開くが、両親の介護を機に閉校。介護の経験から健康・美容の道へ目覚め、38歳で本格的に学び始める。イギリスのロイヤルファミリー、ダイアナ妃専属の自然療法医であった院長のもとで学び、高度な技術と知識を習得。ホリスティック療法の資格を取得し、これまで「salon de very」「PANAVELA 仙台・山形」「immune 仙台」をオープン。

[LumiWell website] <https://lumiwell.jp>



菅野 真子 (かんのまこ)

LumiWellスーパーバイザー。幼稚園から高校までを仙台白百合学園で過ごす。関西学院大学卒業後、東京の大手イベント会社に就職。企画・制作・運営に携わる中で、人それぞれの「幸せのカタチ」があることを実感。自身も共感しやすいZ世代を中心としたWell-Beingマーケティングに力を注ぐ。

免疫や腸内環境、精神の在り様が健康に大きな影響を及ぼしている事実に辿り着き、日本全国で啓発活動に勤しむようになりました。

郁子 うちの息子が重症のアトピーでした。食事で治したく思い、専門家の所に通って学んで必死で食事療法に打ち込みました。

福岡 互いに親世代の生き様が信条の根っこにありますね！気持ちを上げて試練に立ち向かい、強さを培い、納得するまで諦めないという。

(*) ホリスティック…人間の「からだ」を肉体・精神・心・靈魂の総体ととらえ、限界や欠如も含めて人間をまるごと全体的に見る考え方

「人生のアトリエ」として常に進化を

福岡 昨晩は王妃同士が「私が私」ではなく、互いに美しさを喜び合い、讃え合っている光景に深い感慨を覚えました。

郁子 仙台の人たちはあまり競い合いません。現状が心地良ければしゃかりきにならない。

福岡 そのゆったりとした気質の反映か、街も道幅が広く、「杜の都」の呼び名にふさわしく大きく育った街路樹が街を緑豊かに護っている。

郁子 けれど樹木はだいぶ減りました。特に震災後、東京の資本がどんどん流れ込んで仙台らしさが失われつつあるように感じています。

真子 そして東京が近いので、事あるごとに「なら東京で」となってしまいがちですね。

福岡 その土地ならではのバリュー、パワーを再認識し、誇りを再生していく取り組みが必要ですね。先程「競争しない」とおっしゃいましたが、それは共生の心に通じます。それを風土とする仙台は高いポテンシャルがあるのでは。

また真子さんやLumiWellのスタッフの若い方々が粹に感じながら「王妃のお仕度」に参加され、何かを見出そうと取り組んでくださったことも未来に向けての大きなポテンシャルです。

真子 Z世代の我々よりずっと大きな制約の中で生きてこられた年代の方々が、美を軸にしてご自身を解放していくご様子は素晴らしく、人には解放の機会が必要なのだと実感しました。

福岡 「見える化」とは腑に落ちるということ。ウェルビーイング可視化の取り組みが、時代や土地、パーソナリティに合った形で展開され、文化として継承されれば、とても嬉しく思います。

郁子 人生経験を積み重ねてきた大人たちが五感を目覚めさせ、可能性を開く「人生のアトリエ」としてLumiWellも進化したく思います。

福岡 「王妃のお仕度」を通した「幸せの見える化」プロジェクトもエビデンスを重ねながら、各方面で展開&進化していく予定です。これからもまたウェルビーイングを共有しながら一緒にいてまいりましょう。本日はありがとうございます。





池野由佳さん
いけの医院理事長
漢方内科医

松岡みどりさん
第一生命 勤務

山口慶子さん
薬師堂眼科クリニック
院長・小児眼科医

山口万里奈さん
東北大学医学部
大学院4年生

佐藤真弓さん
ハナサク代表取締役
会長

Interview Message ”My Well-Being” 新発見

社会の第一線で活躍されている5人の仙台王妃たち。中でも、人の命と健康を司る医療者3名の方に今回の王妃体験がどのようなエネルギーを導き出してくれたかお話しいただきました。そもそも「ウェルビーイング」とは医療用語なのですから…！

(お名前の50音順に掲載)

① 神戸でのドレスフィッティング(試着)～本番～現在に至るまでの自身の变化

自身をより良い状態に高める自覚が芽生え、幸福感や自己肯定感が上がる実感を覚えました。不安よりも先ず「やってみよう」と思う自分に変わり、それがナチュラルな感覚に。また、医師として学会など人前での発表の機会がありますが、それは研究発表であって自己表現ではありません。私は人前での自己表現には苦手意識があります。けれど克服の機会として、この王妃のお仕度のような機会には積極的に参加したく思うようになりました。

② 本番用ヘアメイクをした自身への感想

普段は身だしなみの域を超えない、いわゆる10分間メイクです。けれどより特別な自分を見ていただくためのメイクをしていただき、そんな自分を自覚できることに幸せを覚えました。



池野由佳さん

宮城県塩竈市藤倉で、創立37年になる医療法人社団いけの医院の理事長。皮膚科・形成外科・漢方内科の医師。栄養学にも着目し、栄養指導も積極的に取り入れた診療を実施。プライベートではゴルフやタヒチアンダンスが趣味。今の目標は、数年後に開催されるホルルマラソン55回大会での完走。

③ 宝塚OGからの立ち居振る舞いのアドバイスを受けて思ったこと

やはり堂々と振る舞える自分でありたいと改めて思いました。人前での自己表現が恥ずかしいとか緊張するとかではなくて。堂々としている自分がナチュラルな自分であると。これからの日常生活の中でもそうありたいですね。

④ 医療者としてウェルビーイングをどうとらえ、どう伝えたいか？

Well-being『心身ともに満たされた状態』は、“心身ともに健康である”ことで得られると考えます。日頃から健康を意識した食事や休息・運動を生活に取り入れることは、慣れれば難しくは無いですが、健康な状態では中々取り組まねず、多くの方が体の不具合を自覚してからのstartとなります。健康への意識を持つことがWell-beingへの近道だということを医療者として多くの方に伝えていきたいと考えています。



特集

王妃のお仕度
2025 in 仙台

① 神戸でのドレスフィッティング(試着)～本番～現在に至るまでの自身の変化

パーソナルカラー診断では、たくさんのカラーを比べると、色によって印象が大きく変わることが良く分かりました。さらに彩度、明度も変えると、顔の表情にも違いが出て驚きました。神戸でのドレスフィッティングは、はじめは「ドレスの試着」のような気持ちでしたが、本番までの準備期間は「ドレスを似合うように着こなす」という責任的な意識に変わりました。外見、内面ともに自分と真摯に向き合うようになりました。

② 本番用ヘアメイクの自身への感想

顔の形と骨格に合うようなヘア、メイクでは最大限に個性を引き出してくださって、ドレスを着る前に「心構え」ができました。本番でステージに上がったときに、お仕度チームに支えていただいたことに感謝しました。

① 神戸でのドレスフィッティング(試着)～本番～現在に至るまでの自身の変化

私は薄い色を普段よく着ておりましたが、レトロな色を顔周りに持ってきたり、スカーフを取り入れると顔が明るく見えると、蓮水さんがパーソナルカラー診断をしてくださいました。暁さんからは私に合ったメイクのコツを教えていただき、髪は洲崎さんにハーフツインで巻いていただき、レトロな感じの赤くてふわっとしたドレスを選びました。皆様に『ベルサイユのばら』のル・ルーちゃんみたいに可愛いと言ってもらってとても嬉しかったです。

② 本番用ヘアメイクの自身への感想

本番では洲崎さんに髪をアップにして飾りを付けていただきました。私に似合うメイクを暁さんが研究してくださいました。ステージは緊張しましたが、お客様や関係者の皆様が温かく迎えてくださり思い出に残りました。



山口慶子さん

日本ではまだ数が少ない小児眼科専門医師。2020年、曾祖父様が創立された眼科病院100周年を機に、大橋記念薬師堂眼科クリニックを開院。医業の一方でピアニストとしても活動。NPO法人「君とカタルシス」を設立し、コンサート収益を難病支援と児童養護施設の支援に充てている。



山口万里奈さん

東北大学大学院医学系研究科4年生。電気が要らない簡易屈折計と、上眼瞼を介して測定する眼圧計を臨床研究中。第129回日本眼科学会総会で学術展示優秀賞を受賞。

研究対象の器械が大阪・関西万博「わたしとみらい、つながるサイエンス展」の東北大学「未来の診療所」に展示。仙台市科学館3Fにも常設展示中！

③ 宝塚OGからの立ち居振る舞いのアドバイスをを受けて思ったこと

歩き方や姿勢、立ち振る舞いの所作は、ドレスを着ていない日常でも仕事や生活で心がけたいと思いました。姿勢の美しさは単なる身体の使い方ではなくて、内面の在り方や空間との調和を映す表現であると感じました。

④ 医療者としてウェルビーイングをどうとらえ、どう伝えたいか？

医療の現場では、患者さんたちの「ウェルビーイング」を支える立場であり、その方々が、少しでも前に向けるように考え、実践することが自分の「ウェルビーイング」のスタンスです。私は小児の専門医ですので、生まれつきの障害や難病のお子さんなど、患者さんだけでなく、そのご家族も共に「ウェルビーイング」であるように、これからも全力で向き合っていきたいと思います。

③ 宝塚OGからの立ち居振る舞いのアドバイスをを受けて思ったこと

肩が内側に入りやすいことを知りました。LumiWell様のイミュン仙台様でインディバの施術を受けて、肩周りが楽になりました。扇子の持ち方や歩き方などを教えていただき上品な所作になれて楽しかったです。

④ 医療者としてウェルビーイングをどうとらえ、どう伝えたいか？

ウェルビーイングについて意識したり深く考えるようになりました。患者さんに対して、以前より明るく接するようになり、診察時の雰囲気も良くなりました。患者さんが医療者に相談し易い環境作りは、安心感や信頼関係の向上にも繋がります。王妃のような非日常体験は医療者にとってもリフレッシュになります。患者さんにも、何か希望や楽しみを持って生活していただけるように配慮していきたいです。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

宝塚男役OG——「お仕度」の名手たち

座談会

「輝く人」から「輝かせる人」へ。
全ては王妃のために！

〈進行〉

福岡 真理子 (HEALTH PLUS 編集長)

王妃のお仕度総合プロデューサー

「王妃のお仕度クリエイティブ・チーム」の
タカラジェンヌOGたち。
神戸と仙台、2つの「王妃のお仕度」を
振り返り、大いに語ってくださいました！

暁郷 (メイクアップアーティスト)

風莉じん (コンシェルジュ)

蓮水ゆうや (お仕度プロデューサー、
パーソナルカラーアナリスト)





特集

王妃のお仕度
2025@仙台



王妃のお仕度クリエイティブ・チーム

①コンシェルジュの風莉じんさんは全体の司令塔。お仕度の全過程が心地良くあるよう、タイム管理&調整をはじめ、美容師免許を活かしてヘアメイクのサポートまで。本番では心温まる司会を ②お仕度プロデューサー / パーソナルカラーアナリストの蓮水ゆうやさんは全王妃のスタイリングをプロデュース。王妃たちの魅力発揮のベースづくりは彼女に委ねられている ③メイクアップアーティストの暁郷さんは、蓮水さんとも連携しつつメイクプランを練り、実際のメイクを実施。各王妃たちの個性とコンディションに寄り添い、輝きを引き出してゆく

「王妃のお仕度」の流れ

お仕度期間約3か月

〈STEP-1〉

パーソナルカラー
トータルコンサルテーション

パーソナルカラー理論をもとに王妃の魅力
を最大限に引き出すドレス、ヘアメイク、
付属小物などを決める手がかりをつかむ
コンサルテーションは、お仕度の中でも最
も重要なプロセス

〈STEP-2〉

ドレスフィッティング

カラーコンサルテーションをもとに厳選さ
れたドレスの試着。最終調整の上ヘアメイ
ク、アクセサリーなどをFIRM。各王妃の
リクエストにきめ細やかに対応すること
でさらに当日へのモチベーションを高め、王
妃たちの夢をパーソナルに実現

本番当日〈FINAL STEP〉

①王妃ヘアメイク

②ポートレート撮影

ポーシング指導も実施

③ステージリハーサル
(王妃のドレスモデル
コレクションリハーサル)

エスコート、スピーチリハ、
ウォーキング他指導

④本番

宝塚OGならではの強み

福岡 神戸に次ぐ仙台での「王妃のお仕度」。今回も大変お疲れさまでした。皆さんのチームワークとホスピタリティに感服でした！

蓮水 元々「お客さまの喜ぶ顔を見たい」という強い願望を抱いて宝塚に入った私たちですから。

風莉 宝塚時代に我々が根っこに培ってきた年長者を立てる意識や団結力も、チームワーク力発揮に役立ったかもしれません。

蓮水 苦楽を共にしてきた者同士の阿吽の呼吸も。何かピンチがあってもカバーし合えますし。

暁 私はチームワークということでは、ヘア担当の洲崎美智子さんからもっと頼られるメイクアップ担当者でありたい。それこそ阿吽の呼吸でタッグを組めるようになりたいです。

福岡 大ベテランの洲崎さんとは勿論、仙台では LamiWell の若手スタッフの方々と皆さんの連携は素晴らしかったと感じています。あと王妃たちのエスコートも。

蓮水 宝塚時代、私たちはエスコートし続けてきましたもんね(笑)。

暁 全員男役でしたし(笑)。

風莉 女性を前にすると、いまだにエスコートしてしまいます(笑)。

福岡 それも王妃のホスピタリティに繋がっていると(笑)。チームワークとホスピタリティは宝塚OGならではの強みですね。

蓮水 宝塚のステージではお客さまにステキなものを観ていただくために皆が同じベクトルを持つ。王妃のお仕度も同じなのだと思います。チームとして一つの目的を完遂させる。そこにプライオリティを置くということが。

「裡なる王妃」の目覚めに 無限大の可能性を感じる

福岡 各5名様ずつの神戸王妃と仙台王妃。双方輝かしい王妃の煌めきを見せてくださいましたね。

蓮水 本当に。私は特に、年齢の若い二人の王妃の変貌が印象的でした。大人の王妃たちの中にとても控えめにされていたのですが、



暁 郷
(あかつきこう)

元宝塚歌劇団男役。退団後、ミュージカルや舞台、ドラマなど数多く出演。2014年スーパーモデルジャパンコンテストのファイナリスト。モデル業も行いつつ、美しさを追求すべくメイクスクールへ。大手外資系化粧品会社へ入社し、経験を重ね、現在フリーランス・メイクアップ・アーティストとして活躍中。



蓮水ゆうや
(はすみゆうや)

元宝塚歌劇団男役。2008年『殉情』、2013年『The WILD Meets the WILD - W. M.W-』(共に宝塚バウホール公演)で主演を果たす。退団後は女優としてTVドラマや舞台などで活動。二児の出産を経て現在はJPCA(日本パーソナルカラー協会)パーソナルカラーアナリストとしてイベントやパーソナルカラー診断で活躍中。



風莉じん
(かざりじん)

元宝塚歌劇団男役。声量あるのびやかな歌声に定評があり、劇中のソロやトップコンビのデュエットダンスのカゲソロ、パレードのエトワールなどを務めた。2010年度の年度賞にて努力賞を受賞。退団後は舞台、コンサート、後進育成に尽力。美容師資格も有し、歌って踊れる不動産エージェンツとしても活躍中。

フィッティングでドレスをまとう間にどんどん顔つきが変わられ、本番の時は心からの幸福感を溢れ出させる雰囲気になられて。

福岡 それは感動的!「王妃のお仕度」は、ステージに立つてきたわけではない方々の中に眠る「裡なる王妃」を目覚めさせていただくことをねらいとしていますし。

暁 私も王妃たちの幸せな笑顔が何より嬉しくて。メイク中、各王妃の心をほぐすことに努めました。中には高齢の方もありますが、中には高齡の方もあります。会社役員で90歳まで華道や茶道の師範も務め上げた叔母の話をさせていただいたら「私も頑張るから見て」と笑顔でおっしゃられて。
福岡 人の魅力や可能性は、年齢では線引きできませんね。

蓮水 それにしても、王妃の体調への配慮は大切で。椅子の用意や衣裳の着せ方など、風莉さんがとても心遣いしてくださいました。

風莉 私にとって印象的だったのはフィッティングに参加叶わなかった仙台王妃のお仕度です。当日初めて袖を通されるドレスのサイズ

感に始まり、ヘッドドレスやアクセサリー合わせまで全要素で緊張度高いわけです。しかし結果はとても喜んでいただけたので、事前打ち合わせ無しでもここまでいけると、自分たちの今のスキルを再確認できた思いがありました。

「お仕度」から「たしなみ」へ
「王妃」から「王」へ…

福岡 神戸でも仙台でも、女性たちの秘めたる可能性は無限大だと王妃たちが身をもって示された感がありますね。

風莉 勇気を持って一歩踏み出す大切さを「王妃のお仕度」から教えていただいたように思います。年齢の話が出ましたが、私自身たとえ年齢を重ねても、一歩踏み出す気概を持ちたいなど。

蓮水 多くのかたが「この年だし」とおっしゃいますが、実際にドレスを着てメイクされると「私、イケる?」とスイッチが入る。

暁 私たちの役割は、そのスイッチを入れることですよね。

蓮水 そのスイッチで魔法がかかり、堂々と振る舞え、その姿にご家族やご友人も歓声を上げる。

福岡 まさにそこに幸せの循環があるわけで。今私が考えていることは、お仕度で目覚めた裡なる王妃にさらに磨きをかけていただく「王妃のたしなみ」。女性だけではなく男性も裡なる「王」を発見していただくことにもニーズはあると思っています。

風莉 「王のたしなみ」! ステキですね! 私は宝塚退団後、ブライダル業界に携わってきましたが、花嫁だけではなく花婿たちのメイクやしつらえの完成度も重要視されていきましたね。

福岡 まさに理想の男性像を多彩に演じてこられた皆さんにとって「王」の導き手は適役。男性は女性と比べてある意味、自らを社会通念の枠組みに閉じ込めていて、なんだか息苦しそうです。俳優のように別の自分を演じることで、裡なるキングを目覚めさせ、新しい自分の可能性を発見していただきたいですね。





特集

王妃のお仕度
2025 in 仙台



「お仕度」と「たしなみ」 それは人生のスイッチをいれる意義ある体験

〔王妃のお仕度総合プロデューサー〕 福岡真理子



「王妃のお仕度」の企画内容についての
お問い合わせは・・・
(有)女性と健康社
TEL：078-706-0225
e-mail：joken@tempo.ocn.ne.jp

2024年12月の神戸に次いで、今回特集させていただいた2025年5月開催の仙台。これら2つの「王妃のお仕度」を通して私自身、ようやく「Well-Beingの輪郭」がおぼろげながら見えた、という思いです。そしてこれは、「王妃のお仕度」に関わるタカラジェンヌOGで特別編成された「お仕度チーム」（写真左上）をはじめとする全ての皆様のご理解とご尽力、そしてご協力の賜物と改めて感謝いたします。

ご存じの通り「王妃のお仕度」はWell-Beingの可視化がテーマ。幸せの見える化を啓発推進する取り組みです。Well-Beingは元は医療用語であり、より良い健康のあり方を定義づける言葉です。そのことから今回の特集では、幸せの根源である健康をサポートする現役医師の3人の王妃に、王妃たちを代表する形で体験の感想をお寄せいただくことが叶い、とても嬉しく思っています。心に響く文面からお一人おひとりの幸せの見える化についての素晴らしい気づきが伝わり、お仕度期間と

当日の感動が鮮やかに蘇っております。

また、その中のお一人、山口万里奈さんの研究対象の器械が仙台市科学館の常設展示に決まり、さらにEXPO2025大阪・関西万博にて展示されました。この喜ばしいニュースに心弾ませながら、「王妃体験」をされた皆様の今後のさらなる活躍を応援してまいりたく思っています。

「裡なる王妃」を目覚めさせて、自分にとっての本当の幸せ“なりたい自分”を発見する。このような王妃たちの人生のスイッチがパチンと入る瞬間に立ち会えることほどイノベーティブな体験はありません。

さらに、お仕度の前後には確たる学び＝「たしなみ」が必要と感じ、「王妃のたしなみ～グレーヌ・アカデミア～」を神戸北野「フローラ」（写真左下）で開講予定。そして、「王妃のお仕度」と並行してご要望の多い「王のお仕度」も新たに発信するなどまだまだチャレンジは始まったばかりです。詳しくは次号HEALTH PLUSにて。

Information Well-Being 可視化文化事業 王妃のお仕度 VOL.3

《株式会社ラスイトルパン主催》

「マリー・アントワネットが愛した薔薇と音楽のクリスマス晩餐会」
～王妃の劇場（Théâtre de la Reine）～

2025年12月20日（土）17:30 @ラスイトルパンビル内3階 ラ・テラスホール神戸

神戸、仙台と二つの文化都市で開催し大きな反響を呼んでいる「王妃のお仕度」VOL.3を2025年のクリスマスシーズンに再び神戸にて開催。歴代王妃生誕の地にて、光輝く5名の王妃たちが新たに誕生します。今回もタカラジェンヌOG全面プロデュースによりお仕度を終えた王妃たちによるドレスモデルコレクション

（フロアショー）、特製のクリスマス・ディナーをOGショーとともにご堪能いただく豪華「王妃の劇場」バージョン。

あなたの裡なる王妃が目覚める夢の時間。宝石箱のように煌めく神戸の海を一望する話題のバンケット、ラスイトルパンビル内3階ラ・テラスホール神戸にてお待ちしております。



ラスイトルパンビル。そこから一望する夕刻のハーバーランドは幻想的

【イベントお申し込みお問い合わせ】
ラスイトルパンビル内3階
ラ・テラスホール神戸
TEL 078-321-1515